



やまももだより

森町愛光園

56号

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 特別養護老人ホーム 森町愛光園

静岡県周智郡森町一宮3150
Tel.0538-89-7031 Fax.0538-89-7100

春恒例
森町愛光園
デイサービスセンター
じゃがいも作り



去年は20kgも
収穫!
今年は!?



今回は私の子供の頃のお話。私は幼少の頃とても虚弱で泣き虫な子でした。今の姿からは想像できないとは思いますが、小学校1年生の夏休み明けには学校へ行きたくないと言って1週間泣き続けたそう。(記憶が曖昧で、母親の証言による私の転機は、小学校3年生の夏休み。通っていた自由プールで、初めて25メートルを泳げたこと。その日の内にターンを覚え何往復もした事が自信に変わったのだと思います。給食を残して泣いていた低学年時とは違って変わり、休み明けには「よく食べよく遊ぶ子」に変身しました。

なぜこんな話をしているかと言うと、今年も新人職員を迎える時期になり、人が成長するキッカケはどこに転がっているかわからないという事を思い出し、そして迎える先輩職員達にも再認識してもらいたいからです。私は今年から法人全体の人材育成に関わる役目をいただきました。人を育てる重責に於いて、育成を促進する役目と同時に成長の側に寄り添う役目があることを強く意識していきたいと思えます。

教育や指導に携わる時、「教える」「スタイル」と「学び促す」「スタイル」とがあります。実は私、かなり気が短いほうでもあります。直ぐに結果を欲しがります。(泣き虫で短気…。厄介な性格ですね)そんな私が育成現場で抱く感情は想像に難くありません。だからこそ、成長の時期、成長の伸び、成長の行方に寄り添う姿勢を自らに課したいと思えます。そして、私自身も共に成長したいと思えます。

森町愛光園に赴任して2年目です。施設運営の難しさと楽しさを感じています。森町愛光園のすべてのスタッフが少しずつ成長することが、ご利用の方々、地域の皆さまの期待に応える唯一の方法だと思えます。介護をめぐる社会情勢は厳しさを増しています。私は「人こそ宝」と信じて、森町愛光園のすべてのスタッフと共にこれからの仕事に向き合っていきたいと思えます。



入学式の朝



森町愛光園 園長 吉岡 誠仁

共にあるようにつとめ

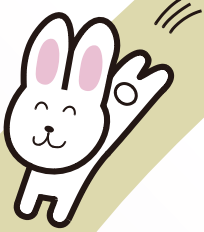
金森神社に初詣♪
どんなお願い事を
したのでしょうか？



スタート

餅つき

鏡餅をつくり
新年の準備は
ばっちり♡



節分

職員扮する神主さん！
ご利益はいかに？！



新しい仲間が増えました



たかの あさみ
高野 麻美

- ①デイサービスセンター
- ②ウォーキングを始めたいです
- ③皆さんよろしくお願いします



いけだ なおみ
池田 直美

- ①デイサービスセンター
- ②二重とび
- ③ご迷惑おかけしないようにがんばりたいと思います



すずき じゅんいち
鈴木 準一

- ①デイサービスセンター
- ②一日一万歩を目標で健康管理をしたい
- ③お客様に安心して乗車いただけるよう心掛けたい

森町ロードレース大会

初詣

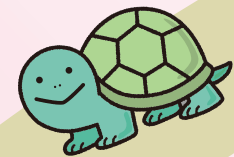


愛光園からも
職員4名が出場！
内1名が見事**6位入賞**を
果たしました☆



ひな祭り

孫やひ孫の
成長を願って♪



ゴール



あさの たかよし
浅野 隆義

- ①南北通り
- ②新たな資格取得に挑戦したい
- ③常に初心と感謝の気持ちを忘れず、一日も早く戦力になれるよう頑張ります

平成27年4月1日より介護保険が改定されました。

それに伴い、森町愛光園では、入居部門3/14（土）、在宅部門3/15（日）にそれぞれ説明会が行われ大勢のご利用者、ご家族に参加いただきました。

報道の通り、森町愛光園にとっても大幅な介護報酬減額であり、またご利用者にとっても負担増が織り込まれた改定でありましたが、森町唯一の特別養護老人ホームであることを念頭に、更に地域に貢献できるよう職員一同職務に努めてまいります。

主な改定点としては、

要支援1・2の方々について、全国一律の「予防給付」から市区町村が取り組む地域支援事業に移行し、特別養護老人ホームの新規入所者が原則介護度3以上に限定されます。

低所得者の保険料軽減の拡充、また一方では、一定以上の所得のある利用者の自己負担の引き上げ、さらに低所得の施設利用者の食費・居住費を補てんする「補足給付」の要件に資産などを追加等です。

御不明な点は、お気軽に各担当者にお尋ねください。



第13回聖隷福祉学会にて研究発表

2月28日(土)アクトシティコンgresセンターにて第13回聖隷福祉学会が開催されました。

森町愛光園でも、サービスの質の向上や職員の研鑽の為に取組んだ研究の成果を発表しました。

この研究に際し、ご協力頂きました各関係機関、皆様に深く感謝致します。



発表演題

情報のデジタル化からみえたもの

～安心した在宅介護を目指して～

森町愛光園
ケアプランセンター
発表者 杉浦 晴奈



無事故・無違反コンクール

「聖隷チャレンジゼロ2014」への取り組み

12月1日～1月31日、聖隷福祉事業団内での安全運転推進企画が行われました。

森町愛光園でも総勢65人13グループが参加し、様々な工夫をもって、見事全チーム無事故・無違反を達成することができました。

ご利用者を車に乗せる機会も多いことから、今後もさらなる安全運転に努めてまいります。



通用口に掲示した
ポスターで各グループ
取り組みをアピール



公用車にも
ポスターを貼付



編集後記

森町愛光園の周りの畦道で、四葉と五葉のクローバーを見つけました。皆様にも幸せな春が訪れますように。(山中)



《お気軽にご相談下さい》

☆デイサービスのご相談は:森町愛光園デイサービスセンター(担当:石塚)

☆ショートステイのご相談は:森町愛光園(担当:高橋)

☆訪問介護のご相談は:森町愛光園ヘルパーステーション(担当:山口)

☆入居の申し込み(天宮サテライト含む)などは:森町愛光園(担当:伊藤)

☆在宅介護のご相談は:在宅介護支援センター(担当:杉浦)

☆ボランティアの申し込みなどは:森町愛光園(担当:石塚) 天宮サテライト(担当:石川)

http://www.seirei.or.jp/elderlyhome/morimachi/
e-mail:aikoen-morimachi@sis.seirei.or.jp

